

関西国際空港利用促進策(アクション50)の進捗状況について(報告)

2004年12月1日

関西国際空港利用促進行動会議

本年5月に公表いたしました「関西国際空港利用促進策(アクション50)」(下記【参考】を参照)については、下記1のような関西経済界・自治体・国の政策とも連携して取り組みを進めてきているところですが、今般、各施策の現在の進捗状況と今後の取り組みについて取りまとめましたので、ご報告致します。

1. 地元と国、関空会社が一体となった関西空港利用促進への取り組み

- * 本年、関西空港は開港10周年を記念して、多方面における関係者のご協力も得ながら、これまで以上に様々なイベントを積極的に展開して、空港の賑わいづくりに取り組んでいます。
- * また、今年度は、以前より実施している海外エアポートプロモーションについて過去最高となる本数を計画・実施するとともに、国内プロモーションも実施し、就航便数・旅客数の増加、際内乗り継ぎネットワークの充実に向けて、関西経済界・自治体と一体となって活動を行っています。
- * 同時に、政府が進めているビジット・ジャパン・キャンペーンとも連携して、訪日外国人旅客の増加に向けた種々の取り組みも実施しています。

2. 利用促進策の進捗状況及び今後の取り組みについて

- * この様な様々な取り組みを行っている中、この度、本年5月に関西国際空港利用促進行動会議(参考)が取りまとめた関西空港の利用促進策(50項目、アクション50)のフォローアップ会議を開催し、各施策の進捗状況及び今後の方針について、それぞれ担当のリーダーからの報告を基に確認を行いました。各個別の内容は、別添資料のとおりです。
- * 今後も引き続き、上述1.の取り組みと有機的な連携を図りながら、アクション50に盛り込まれている各施策について着実な実施と成果の実現に向けて取り組むこととし、関空の航空旅客数や貨物取扱量の一層の増加、賑わいの創出、優れたサービスの実現を図るとともに、関空が果たす機能のレベルアップに向け全力を尽くすこととします。

【参考】関西国際空港利用促進策(アクション50)の概要

- * 関空の利用促進を図るべく、地元経済界・自治体・国土交通省・関空会社が一体となって昨年11月より利用促進策について検討を行った結果として、本年5月、お客様にとって「使いやすく」「快適」そして「より親しみを持っていただく」といった視点から、重点的に取り組む利用促進策(50項目、アクション50)を取りまとめました。
- * とりまとめられた施策については、強力に推進を図っていくため、施策毎におかれたリーダーを中心に具体的な検討と実施に直ちに取りかかるとともに、半年に1回程度実施状況及び成果についてフォローアップを行い、必要に応じ更なる施策の検討とその着実な実施に向けた対応強化を図ることとしました。

(なお、利用促進行動会議メンバーは別添資料のとおりです。)

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空会社	首都圏、九州、四国、北海道等での営業・PR強化	全メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・04年6月に「羽田 - 関空 - 中国」ポスターおよびPRビデオを刷新し、羽田空港でPR ・「羽田 - 関空 - 海外」利用促進を図るため、乗り継ぎ便の時刻表を作成予定。 ・「関空利用促進宣言」賛同企業および中国出張の可能性が高い企業の東京事務所を訪問し、「羽田 - 関空 - 中国」利用促進の営業活動を行う予定。 ・北海道プロモーション(札幌・釧路・帯広) 7月9日・8月9日～10日 九州プロモーション(鹿児島・宮崎・熊本) 8月18日～20日 東北プロモーション(仙台・秋田) 8月23日～24日 沖縄プロモーション 9月8日～9日の実施を行った。 ・観光情報センターを活用した相手空港等のPR及び相手空港等での関西空港のPR活動。関西との間の周遊型旅行プランの造成の活性化を図る。
	修学旅行における関空利用運動の実施(国際線/国内線)	各府県・市町、関空会社	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行生誘致施策として関空見学コースを開発中。 ・関空見学コースを国内プロモーション(北海道・東北・九州・沖縄)でPR活動を行った。 ・関空見学コースを地方から海外修学旅行へ行く場合の関空の乗り継ぎ待ち時間や関西からの海外修学旅行出発前、また地方から関西へ修学旅行にくる場合に伊丹ではなく、関空を利用していただけインセンティブとして、今後、自治体・教育委員会・各学校教員や旅行会社の教育旅行支店に営業活動を行う。 ・関係自治体の学校に対しアンケートを実施予定。アンケート結果を基にセミナー開催等を検討。 ・促進協事務局である大阪府から、促進協構成自治体に対して、修学旅行で航空機を利用する場合には、関空を利用してもらうよう教育委員会等に働きかけを行うよう依頼。取り組み状況については以下のとおり。 ・兵庫県、滋賀県、奈良県、大阪府、神戸市、大阪市、泉州9市4町において教育委員会等や学校に関空利用を依頼。また和歌山県では県内の学校に対して「修学旅行にかかる航空機利用アンケート」を実施。 ・泉州9市4町の中学校では、既に修学旅行での関空利用実績あり。
	深夜貨物便の誘致	関空会社、関経連、各商工会議所、各府県・市町	<p>深夜の発着が可能な空港(新千歳・羽田・沖縄)との間において、国内貨物便の就航の可能性について、JAL・ANAに対して営業活動中。</p> <p>また、貨物便を中心に増加している深夜便の需要増に向けた環境整備を図るため、滑走路メンテナンスのための運用制限時間短縮を実現。</p>
	悪天候等による鉄道不通時における迅速な代替手段の確立	関空会社	<p>悪天候時等による鉄道不通時の迅速な代替手段の確立については、ソフト、ハード両面からの検討を実施している。ソフト面については、お客様への航空情報の適切な提供、代行バス乗り場へのスムーズな誘導等のためりんくうタウン駅へ社員等4名を派遣すべく社内調整をほぼ終了し、社員の教育、現地の情報機器の設置等を鋭意進めているところ。</p> <p>また、ハード対策については連絡橋の現在防風柵未設置の区間への防風柵の設置等について、R、南海、鉄道総研等と「関空連絡橋強風対策技術検討会議」を設置し技術的課題について検討を始めたところであり、平成17年度から3カ年で、連絡橋の耐風政策を実施する予定(平成17年度概算要求で計上)。</p>

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空会社	PIS(旅客案内情報システム)表示のわかりやすさの向上	関空会社	(1)旅客ターミナルビル4階等において、「通関中 / CLEARING」の表示を、「出国手続き中 / GO TO GATE」に変更(4月1日改修済)。 (2)共同運航便の増加により、自動案内放送に要する時間が長くなったため、親便と子便を併せて放送し、放送時間の短縮を行った(4月26日改修済)。 (3)プラズマディスプレイ表示器において、備考欄に表示している「ゲート変更」「遅延」「欠航」の特記事項表示が目立つように、赤色で表示をする(4月22日改修済)。
	案内の充実、改善(サイン改善計画の策定、実施)	関空会社	簡潔でかつより多くの人に分かりやすい案内サインを目指して、文字の大型化、カラーコードの採用、四カ国語表示の増加などを取り入れた改善計画を策定し、9月下旬からサインの取り付けを開始、10月末に概成した。
	PTB内テナントの営業時間の延長	関空会社	本年7月にオープンしたPTB1階の当社直営店舗であるカフェについて、営業時間を06:00~23:00とし、早朝深夜の対応を可能とした。今後も、テナントに対し協力を要請し続けるとともに、直営店舗での対応もあわせて検討してゆきたい。
	免税店の拡充	関空会社	免税店の拡充については順調に進んでおり、2004年9月に、免税ブランドショップ増床工事の一環として南北カフェテリアの移設を完了した。その跡地では南北それぞれ180㎡、計5店舗のブランドブティックの増設工事に着手、うち3店舗は2004年12月末にオープン予定。また2005年1月より既存のブランドショップの改廃も実施し、2005年3月にかけて、既存の4ブランド(ブルガリ・カルティエ・ダンヒル・エルメス)に加え、新規3ブランド(フェラガモ、セリーヌ、モンブラン)含めた10店舗を順次オープンさせていく。ブティックの売場面積は240㎡、600㎡と2.5倍になり(制限エリア内のブティックとしては国内最大、なかでもエルメスの売り場面積は東アジア最大規模)、フルラインナップの品揃えで幅広い顧客ニーズにお応えする。
	旅客ターミナルビルの飲食店、物販店の拡充	関空会社	現在実施済みのものとしては、お客様のニーズへの対応と関空のオリジナル性を打ち出すためにPTB3階に「アジアマーケット」をオープン。さらに、PTB3階北側の活性化のため、集客力の高い書店の北側への移設等の店舗再配置を行った。今後、昨年度実施した旅客ターミナルビル内商業施設のコンセプトの見直し案をベースに、お客様のニーズ等も勘案しながら、更なる商業施設の拡充・活性化策を進めて行く予定。 また、ソフト面からみた外国人旅客へのサービス拡充という点で、レストランメニューの英語表記についてテナントに協力を要請した結果、既に多くの店舗に英語メニューを置いて頂いており、まだ置いて頂いていない店舗については今後も引き続き協力を要請していく。なお、既に置いて頂いている店舗については、メニューを店頭置くこと等により英語メニューがある旨の情報提供を行って頂けるよう、協力を要請していく。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空会社	ゲートラウンジにおける店舗の充実	関空会社	ゲートラウンジにおける店舗のうち、国際線制限エリア内店舗の充実については着実に進んでいる。2004年9月、免税ブランドショップの増床工事に伴い、南北カフェテリアを移設し、北エリアでは国際線制限エリアでは日本で初めての出店となるスターバックスコーヒーを直営店舗として新規導入した。また、南エリアではALUXの「ブルースカイ」が装いも新たにメニューも一新し、リニューアルオープン、ご利用のお客様により満足いただけるようになった。
	りんくうプレミアムアウトレットとの連携	関空会社	7月3日の展望ホールリニューアルに併せて、展望ホール、旅客ターミナルビル、エアロプラザ、りんくうプレミアムアウトレットを周遊するシャトルバスを運行するとともに、アウトレットでお買い物をいただいたお客様に対して、当日限りの連絡橋の通行券を配布するなど、アウトレットのお客様を関空に呼び込む施策を実施したところである。この他にも双方の施設内での広告の掲載や関空とアウトレットを周遊するツアーをJR・南海とともに企画して実施するなどアウトレットと関空をひとつのレジャースポットしていくような施策を展開した。今後は、アウトレット以外の施設との連携も視野に入れ、航空旅客以外の来港者に更にお越しいただけるよう工夫していく。
	特典付きKIXポイントカードの発行	関空会社	ポイントカードの特典等の内容について、専門のコンサルティング会社を入れて検討を実施しているところ。今後は更に詳細な検討を行い来年度の実施を目指すこととしたい。
	関空ブランドの創造	関空会社	「関空オリジナル商品」として、関空オリジナル空弁(蛸いなり等)を企画し、9/4～10/31までの間、限定販売を行ったところである。当該企画については、新聞等にも大きく取り上げられ、好評を得ており、期間終了後も、PTB内の店舗にて継続して販売されることとなった。なお、「関空お土産コンテスト」については、早期実現を目指し、検討中である。
	地元農産物や鮮魚朝市の定期的開催	関空会社、関係市町	開港記念イベント「関空夏まつり」において、毎年恒例の大阪府漁業協同組合連合会主催の「とれとれ海鮮市」を開催したのに加え、全国各地のうまいものを集めた「ふるさと物産展」の中で地元の農産物等を取り扱う地元団体にも多数ご出店いただいた。今後のイベント開催時にも、ご出店いただき定着を図っていきたい。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空会社	大道芸人によるパフォーマンスの実施	関空会社	GWイベント時に、大道芸人によるパフォーマンスを実施した。また開港記念イベントにおいては、「空の日」、「空の旬間」スカifesta実行委員会主催の「スカifesta」のプログラムひとつとして、大道芸人によるパフォーマンスが実施された。両イベントともお客様に好評で、集客効果もあったことから今後のイベントにおいても、メニューのひとつとして考えていくこととしたい。
	2期島における集客力の高いイベントの開催	関空会社	<p>【KIXインターナショナル・フレンドシップ・ドラゴンボート大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：8月8日(日) 事前練習会8月7日(土) ・参加者数：約6,000人(選手1,350人、スタッフ300人、応援・観覧者4,300人) ・1期空港島と2期空港島間の水路“内部水面”に250mのコースを設置し、関西各地より全54チーム(オープン：26チーム、男女混合23チーム、女子5チーム)が参加してトーナメント方式にて順位を競った。 <p>【世界へはばたけ・夢サーキット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：8月29日(日)・参加者数：約20,000人 ・主催：(社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会 ・後援：関西国際空港(株)、関西国際空港用地造成(株) ・2期空港島に500mの未舗装コースを造成し、レース車約100台によるダートラリーレースを実施。またステージを設置してレーザー等のトークショーやタレントによるミニライブを行うと共に、協賛企業のPRブースやフリーマーケットも同時開催した。
	島内マラソン大会の実施	関空会社	<p>10月24日(日)に関西国際空港2期空港島で10km、17km駅伝等を開催。また1期空港島と2期空港島を連絡するウォークラリーを同時開催した。</p> <p>参加選手は全国から総勢5800名の大勢のランナーが集まり、応援者等を含めると約10,000名の規模となった。</p> <p>当日は絶好の秋晴れとなり、潮風爽やかな秋空のもと、選手たちは滑走路予定地のコースを精一杯駆け抜けた。</p> <p>また、サブイベントとして、家族で楽しめる1,500匹のヒラメのつかみ取り、飛行機の形をした巨大な砂場での宝探し大会、海外旅行航空券が当たる抽選会や大ジャンケン大会などを開催し、参加した子どもからお年寄りまで大いに盛り上がった。</p>
	展望施設の充実	関空会社	<p>航空旅客以外の集客策として、保安区域にあった展望ホールを一般区域に編入してマイカーでのアクセスを可能にするるとともに、カフェを併設した緑とウッドを取り入れた憩いのスペースにリニューアルし、「関空展望ホールスカイビュー」として7月3日にリニューアルオープンした。また併せてアウトレットのお客様を関空に呼び込む施策として、旅客ターミナルビル、エアロプラザ、展望ホール、りんくうプレミアムアウトレットを周遊するシャトルバスを運行し、アクセス面の改善を図った。これらの施策が奏功し、運営状況は好調であり、来場者はリニューアル前の3倍(11月末現在)と大幅に増加した。施設内容についてもお客様に好評であり、9割以上の方が満足されているというアンケートの結果も出ている。今後は、冬の閑散期に向けて更なる集客が図れるよう、サービスの充実やPR等の工夫を行っていく。</p>

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空会社	エアロプラザ跡地の有効活用	関空会社	<p>温浴施設を含め種々の検討を行っているところであるが、単独の施設としては採算性等非常に厳しいものがある。今後も引き続き検討を進めていくが、その間、短期、中期的イベントを開催し、賑わいの創出と併せて、集客動向等各種の実績の蓄積に努めていきたいと考えている。</p>
	海釣り公園の設置	関空会社、大阪府	<p>「関空ファミリー魚釣り調査」を実施し、7月～9月の土日等で事前にお申し込みをいただいた方を対象に、1日50組(100名程度)限定で、一般の方々にポートターミナル地区での釣りを体験していただいた(8月～9月についてはインターネットでご応募頂いたうえで参加者の抽選を行ったが、倍率が平均でも60倍になるほどの人気があった)。今後は参加して頂いた方のアンケートや調査結果を参考に、事業化について検討を進めていくこととする。</p>
	子供が楽しめる、親子で楽しめる施設、広場の設置	関空会社	<p>「関空ファミリー魚釣り調査」の結果をもとに、海釣り公園の事業化検討を進めているところであるが、ポートターミナル地区の活性化策のひとつとして、海釣り公園と連携したバーベキュー広場の整備も検討していく。</p>
	航空博物館、航空科学館の設置	関空会社、大阪航空局、関西空港事務所	<p>7月3日にリニューアルオープンした展望ホールにおいて、1月までのイベントとして「見果てぬ夢のヒコキ展」と題した、飛行機操縦シミュレーターや超精密飛行機模型の展示など飛行機に関連するイベントを開催しているところ。このイベントの結果を踏まえて、展望ホールの将来的な姿として、本格的な航空博物館/科学館のような施設に発展させていくか検討を進めていく。</p>
	ロータリークラブ世界大会(2004年5月)における観光案内、関空PRの実施	関空会社、近畿運輸局、各府県・市町	<p>ロータリークラブ世界大会(2004年5月23日～26日に開催済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロータリーによるインフォメーションデスクの設置(5月20日～25日) 国際ロータリーによりPTB1階南北国際線到着口付近にインフォメーションデスクを設置。関空会社の協力体制としては、インフォメーションデスクに2名(KIAC1名、KAA1名)を配置、また、案内配置前に接遇についてのブリーフィングをKAAにより実施。 ・ロータリーによる横断幕の設置(5月10日～28日) 国際ロータリーによりPTB内に横断幕8枚を設置。 ・インフォメーションデスクへ当社パンフレット等を設置(5月20日～26日) 国際ロータリーが設置したインフォメーションデスク(関西空港、伊丹空港、新大阪駅、大阪ドーム、国際会議場、リーガロイヤルホテル)に当社パンフレット(日英、日中)及び関西国際空港ガイド(中韓英日)を設置。 ・関西広域マップの作成。(関西国際観光推進センター) ・共通割引乗車券に添付する移動マップの作成。(関西国際観光推進センター) ・リーガロイヤルホテル、国際会議場内のイベントステージ等で「関西アワー」を設置し、郷土芸能などのパフォーマンスを実施。(関西国際観光センター) ・国際会議場におけるブース(パンフレットの配布及び案内の窓口)の設置。(関西国際観光推進センター) ・道頓堀「Heart-Beart」ナイトの開催。(近畿運輸局、関西国際観光推進センター) ・訪日ロータリアンを対象に、関西カルチャーツアーを実施。(関西国際観光センター)

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空会社	各メンバー発行の広報誌等との連携	全メンバー	イベント案内や利用促進に向けての情報を逐次提供。ポスター掲示先も新たに公共性の高い場所(駅・近隣ホテルなど10カ所程度)を中心に増加。より新鮮な記事が掲載できるよう原稿締め切りを遅くすることについては、今後の検討課題。
	関空が他空港と比較しての優位な点をまとめたPR集の作成及びこれを活かした宣伝活動の実施	全メンバー	社内各部より広くアイデアを募集したうえで、集まった意見を集約し、PR集作成のため今後検討を進めていきたい。
	空港島外における関空のパンフレットの設置	関係府県・市町、関空会社	当社広報紙については、従来より泉州9市4町の各自治体の施設に設置していたが、それに加え今年度は新たに南海電鉄の主要駅(6ヶ所)や空港へのリムジンバスをはじめ、京阪神地区のレストランのマガジンラック、羽田空港にも設置。また、東京メトロ銀座駅、新宿駅には、併せて関西国際空港ガイドも設置。 なお、南海主要駅には、広報誌だけでなく、KIACの種々イベントチラシや展望ホールのフリーマガジン(「遊べる関空島」)も設置し、PRに努めている。また、「遊べる空港島」はJRの駅にも設置した。
	メルマガを利用した関空ファン、サポーターづくり	関空会社	メルマガ配信の実施に向け、配信体制について検討を進めるとともに、コンテンツについても、関空の最新情報・イベント情報等に加えて、関空会社新規施策(KIXポイントカード等)との連携なども視野に入れて検討していく。
	インフォメーションセンターの統合・再整備	関空会社、近畿運輸局、各府県・市町	観光案内所とホテル予約や公共交通機関の発券を行うトラベルデスクを一体化した総合案内施設を国際線到着ロビー中央に整備済(10月5日オープン)。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空会社	関空の日本各地における観光・集客に関する案内・情報発信拠点化	関空会社、近畿運輸局、各府県・市町	国際線到着ロビー(観光案内所前)にパンフレットや映像等で観光情報を発信するスペースを設け、関西はもとより日本各地の観光PRを行う(11月15日オープン)。
	国際線乗り継ぎ待ち時間における、近隣観光のための地図作成・配付	関空会社、近畿運輸局、各府県・市町、関経連、各商工会議所	国際線乗り継ぎの待ち時間の近隣観光および関西の観光を促進するための観光案内パンフレットをデジタル・ジャパン・キャンペーン地方連携共同事業として04年3月に英語・韓国語を制作した。また、04年12月初旬に中国語[繁体字版・簡体字版共]・仏語版を新たに制作するとともに英語・韓国語版を刷新する。
	ウェルカムボード設置の検討及び関西らしさのある展示物の設置	関空会社、近畿運輸局	国際線到着ロビーへの設置を検討するものであるが、1階到着ロビーの整備状況を見ながら今後検討を進める予定である。
	関空見学ツアーの実施	関空会社	見学ツアーについては、お客様に関空への理解を深めて頂くという意義に鑑み、ツアーのあり方・発展のさせ方について現在社内にて検討しているところである。
	国内・海外における利用動向調査の実施	関空会社(関経連、大阪府、国土交通省) 関経連、大阪府、国土交通省については、それぞれの団体の報告部分に記載。	国土交通省が今年度、関空の際内乗り継ぎ実態について調査することになっており、調査項目等について関空会社として必要性のある項目をできるだけ盛り込んで頂けるよう連携を図っている。(アンケートは繁忙期・閑散期でそれぞれ実施する。) 関空会社単独の調査としては、平成10年度以降実施していない島内従業員調査の実施を、1月を目途に検討中。島内事業者数、従業員数やその通勤手段等についてアンケートを行い、空港運営の基礎データとして把握しておく。なお、従業員調査については、今後も継続的に実施することとしたい。また、今後の予定としては、今年度中に、どのようなデータが必要か、また継続的に把握する必要があるかについて過去の調査内容の再確認、社内への意見照会・調整等を行い、来年度以降の調査内容について固めていくこととしたい。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関経連	関西経済界、自治体内部等での関空利用運動の実施(国際線/国内線)	各府県・市町、関経連、各商工会議所、国土交通省	<p>関空利用促進キャンペーンの展開(平成16年4月～)</p> <p>関空利用促進の一般向けPRポスターの掲示 4月12日から、主要な駅ターミナル(JR西日本、民鉄5社)、空港(関空、伊丹)、リムジンバス乗り場、大阪国際会議場、関西経済6団体の事務所、梅田・難波の地下街などでポスターを掲示。あわせて、関経連・大商の会員企業へもポスター掲示を要請。 広報誌・ホームページでのキャンペーンPR 関経連・大商の広報誌やホームページにおいて、関空利用促進キャンペーン実施中のPRを掲出。関空会社広報誌に経済6団体名のPR記事を掲載。あわせて、PR版下(A4サイズ)を企業に提供し、企業の社内誌や広報誌で関空発着便の利用を勧奨してもらうよう要請した。</p> <p>関空利用促進宣言の採択 5月24日 兵庫県が知事定例会記者会見で「関空・国際線利用促進宣言」を表明。 7月14日 関西広域連携協議会の主要団体が、「関空利用促進宣言」を採択。 8月2日 関空全体構想促進協議会が、「関空利用促進アピール」を採択。 同日、関西主要企業81社が連名で、「関空利用促進宣言」を採択。 8月末～ 関経連・大商の主な会員企業等に対して、「関空利用促進宣言」への賛同を要請。 11月末時点で、530社の賛同あり。 対外的な宣言とあわせて、各社内において、通知や通達等により、関空利用促進の周知徹底にも協力してもらっている。11月末時点で、関経連事務局へ寄せられている社内通知・通達等の文書は、122通に達している。</p> <p>今後、関空利用促進宣言を関空利用者数の増加という成果に結びつけるため、社内通知・通達等の整備、関空利用の実績の把握に努めるとともに、このような取り組みを踏まえつつ、関空の輸送力増大に向けた働きかけを行う。</p>
	永年勤続者等への海外旅行奨励制度の確立	関経連、各商工会議所、近畿運輸局	<p>関経連の主要会員企業へ協力要請(平成16年5月～)</p> <p>まずは企業各社の趣旨の理解と積極的な検討依頼から開始している。 5月31日 統括委員会(65社)において、各社へ積極的な検討協力を要請。 6月11日 正副会長会議(11社)において、各社へ積極的な検討協力を要請。 なお、各社の社内向けの関空利用促進の周知徹底のなかで、社員個人の国内・海外旅行での関空発着便の利用の勧奨にも協力してもらっている(通達等にも明記する企業もある)。こうした社員個人の旅行での関空利用奨励の浸透が、永年勤続者等への海外旅行奨励制度の確立に向けての大きな素地となる。</p>
	国内・海外における利用動向調査の実施	(関経連、大阪府、関空会社、国土交通省) 関空会社、国土交通省、大阪府については、それぞれの団体の報告部分に記載。	<p>関経連において、関西系の主要な荷主企業(約200社)に対して、航空貨物に関する関空の利用状況や課題、改善点のアンケート調査を実施中(16年10月上旬～11月中旬)。貨物面の関空利用促進策を年内または年初に提言予定。</p>

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
大阪商工会議所	海外の日本食レストランでの関西旅行、関空のPR	各府県・市町、関空会社、関経連、大阪商工会議所、近畿運輸局	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪商工会議所では11月12日付けで、海外の日本食レストラン28軒にポスターを送付済み(11月末現在2軒のレストランで掲示した旨の連絡あり)。 ・促進協事務局である大阪府から、促進協構成自治体に対して、海外事務所からの日本食レストランや企業等に対する関空・関西PR用ポスターの掲示の働きかけ、海外事務所内や海外事務所の行事開催時におけるポスター掲示を依頼。取り組み状況については以下のとおり。 ・兵庫県、大阪府、神戸市、大阪市の海外事務所にポスター計350枚を送付。(海外事務所を有する自治体) ・JNTOの海外事務所(ニューヨーク、ロスアンゼルス、サンフランシスコ、パリ)にもポスターを送付。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
大阪府	関西経済界、自体内部等での関空利用運動の実施(国際線/国内線) 自治体については大阪府がリーダー	各府県・市町、関経連、各商工会議所、国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> ・促進協構成自治体に対して、海外出張時等の関空利用について、職員等に広く働きかけを行うよう依頼。 ・5月24日 兵庫県が知事定例記者会見で「関空・国際線利用促進宣言」を表明。 ・7月14日 関西広域連携協議会の主要団体が「関空利用促進宣言」を採択。 ・8月2日 促進協が「関空利用促進アピール」を採択。 ・兵庫県、和歌山県、滋賀県、奈良県、大阪府、大阪市、神戸市、京都市、泉州9市4町において、庁内向けや市町村に対して文書等で関空の利用依頼を実施。 ・その他イベント実施時等において関空の利用依頼を実施。
	羽田便空白時間帯の解消に向けた要望活動	各府県・市町、関経連、各商工会議所、関空会社	<ul style="list-style-type: none"> ・8月3日の促進協要望において、羽田シャトル便の利便性向上について適切な措置を講じることを要望項目に盛り込んだ。 ・来年3月からスカイマークエアラインズが1日4往復就航する予定になっているが、引き続き羽田便の利便性向上に向けて要望を行う。
	姉妹都市、姉妹校との交流事業等の継続的实施	各府県・市町、関空会社	<ul style="list-style-type: none"> ・促進協構成自治体に対して、姉妹都市、姉妹校との交流事業を積極的に活用して関空プロモーションを実施するように依頼。 ・兵庫県ではロシア・ハバロフスク州における関空プロモーションを実施。大阪市ではドイツ・ハンブルク市及びベルリン市訪問時に関空PRを実施。ロシア・サンクトペテルブルグ市訪問団、アメリカシカゴ市訪問団来阪時にも関空をPR。さらに姉妹校交流として、市立高校(10校)において、修学旅行、研修旅行等の交流を継続実施。和歌山県では11月に中国山東省に関空プロモーション団を派遣予定。滋賀県では台湾、ドイツとの友好交流事業等実施の際に関空のPRを実施予定。福井県では中国北京市で開催された「北京国際眼鏡展」で関空のPRを実施。神戸市ではシアトル市との交流事業において関空のPRを実施。和泉市では、中国南通市、アメリカブルーミントン市との交流事業において関空のPRを実施。忠岡町では、オーストラリアへの青年海外派遣交流事業実施の際に関空のPRを予定。大阪府では、11月にオーストラリアにおいて関空のPRを実施予定。その他の促進協構成団体においても今後の交流事業における関空PRを実施予定。
	短期ビザの発給拡大等に向けた、関係省庁等への要望活動	各府県・市町、関経連、各商工会議所、関空会社	<ul style="list-style-type: none"> ・促進協構成自治体に対して、観光担当課にビザ発給地拡大の要望を働きかけるよう依頼。 ・兵庫県、和歌山県、大阪府、神戸市において、中国等における訪日団体観光査証の発給対象地域の拡大、査証取得手続の簡素化、修学旅行生に対する査証免除等の要望を実施。 ・他の促進協構成自治体においても、観光担当課に要望について依頼。 ・9月から中国における訪日団体観光査証の発給地域が新たに拡大(天津市、江蘇省、浙江省、山東省、遼寧省) ・また、同じく9月から中国の修学旅行生については査証免除措置が、台湾の修学旅行生については査証緩和措置が実施された。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
大阪府	国内・海外における利用動向調査の実施	<p>大阪府(関経連、関空会社、国土交通省)</p> <p>関経連、関空会社、国土交通省については、それぞれの団体の報告部分に記載。</p>	<p>幹線交通機関利用者ニーズ調査結果についてとりまとめ。調査結果の概要については、第2回利用促進検討会で説明済み。</p>

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
和歌山県	泉州・紀州地域を目的とする観光需要促進	関係府県・市町、阪南・和歌山ブロック商工会議所連合会、関空会社	8/7・8に関空において「高野・熊野世界遺産登録記念キャンペーン in 関空」を実施した。世界遺産登録を記念して、各旅行会社から関空を利用した高野・熊野地方へのツアーが企画・販売されている。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
大阪市	「はるか」の大阪駅停車	大阪市、関経連、近畿運輸局	平成16年7月に「大阪駅北地区まちづくり基本計画」を策定し、その中で、大阪駅北地区の全体整備時に、JR東海道支線を地下化し、新駅を設置することにより、関西国際空港とのアクセス利便性を向上させ、国際的拠点機能の強化を図ることをめざしている。現在、地下化の実現に向け検討をおこなっている。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
神戸市	神戸からの海上アクセスの復活	神戸市、関空会社、近畿運輸局、兵庫県	16年7月1日、関空島にて第1回ワーキンググループ会議を開催し、海上アクセス復活に向け幅広く課題を検討することとし、ポートターミナル等現地視察も行った。 第2回会議は、10月20日に神戸で開催予定であったが台風により延期となったため、現在日程を再調整中。

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
関空協	泉州地域の観光資源と関空を組み合わせたツアー	泉州地域の13市町で構成する泉州地域プロモーション実行委員会、大阪府、関空会社	<p>泉州9市4町が主体となって、関空の利用促進と泉州地域の魅力再発見を目的に関空開港10周年記念 とっておき「食遊湯日帰りバスツアー」を企画。主に京阪神など大阪市以北の居住者を対象に関空及び泉州地域をPRするため、大阪・梅田発着で関空・りんくうタウンと泉州地域の観光地を訪問する。なお、関空ではスカイ・ビューに立ち寄る。</p> <p>期間は平成16年10月14日～平成17年2月26日までの間で、5コース・合計22回を実施予定。(ツアーの概要)</p> <p>観光地:ハーベストの丘、さをりの森、久保惣記念美術館、牛滝山、水間寺、井坂酒造場、浪花酒造、いよやかの郷、ほの字の里 他</p> <p>旅行代金(おとな):平日3,980円、土・日4,480円</p> <p>旅行会社:近畿日本ツーリスト(株)</p>

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
国土交通省	連絡橋通行料金の引き下げ(社会実験)	国土交通省、大阪府、 関空会社	<p>・平成16年7月より、関空連絡橋の通行料金の引下げ(普通車:1730円 900円)を実施しており、これにより航空旅客・関空訪問者等の増大効果を検証する。(平成16年7月1日～10月31日 普通車:1730円 900円。11月1日～平成17年2月28日 普通車1730円 1100円)。</p> <p>・平成17年2月にはETCを利用した場合の関空連絡橋及び阪神高速南線または関西空港自動車道との相互利用割引(普通車:関空連絡橋200円、アクセス有料道路300円、合計500円)を実施し、これにより一般道路から有料道路への転換の可能性を検証する。また、この時期には、ETC限定関空駐車場料金引き(最初の1時間分を無料)も実施。</p>
	国内・海外における利用動向調査の実施	<p>国土交通省(関空会社、大阪府)</p> <p>関空会社・大阪府については、それぞれの団体の報告部分に記載。</p>	<p>・平成16年度において、「関西国際空港における乗り継ぎ利便性向上の検証調査」を実施し、航空旅客に対しアンケート等を行い、関空における内際乗り継ぎの実態等について調査する予定。</p> <p>・平成16年度において、関西国際空港における航空貨物について、有識者・航空貨物業界の実務経験者等による委員会を設け、新たな需要開発に向けた調査を実施する。</p>

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
近畿運輸局	「スルッとKANSAI」との連携(訪日外国人向けチケット)	近畿運輸局、各府県・市町、関空会社	<p>「スルッとKANSAI」の発行する「遊びマップ」にGWイベント(5・6月号)、10周年開港イベント(7・8月号)の情報を掲載した。</p> <p>「2days ticket」へのロゴ印字については、今年度末の磁気情報更新時に「YOKOSO JAPAN」「FLY FROM KIX」のロゴ印字をできるよう、費用負担等の検討を行っていく。</p> <p>観光施設の料金割引制度の宣伝や発売場所の明確化については、6ヶ所の国内販売箇所での案内卓上プレートの設置やホームページへの掲載、JNTO(独法国際観光推進機構)の海外事務所にパンフレットを備えている。</p> <p>チケットの関西一円で汎用的な使用の一本化については、期間限定ではあるが、5月のR-ター-国際大会でJRと「スルッとKANSAI」の共通チケットの取組を行った。今後も機会に応じて検討を重ねていく。</p>
	関空と大阪・神戸港と瀬戸内海を活かした「Fly & Cruise」の検討	近畿運輸局、関空会社	<p>関空会社が7/1付で、関西クルーズ振興協議会に正式入会したことで、同協議会で具体的な計画を検討することとなった。</p> <p><具体例></p> <p>上海・大阪クルーズ(2005/3/27～4/1) (旅行会社の企画に関西クルーズ振興協議会として後援) 3/27関空(空路) 上海(乗船) 長崎 4/1大阪(下船)</p> <p>大阪・香港クルーズ(2005/4/1～4/5) (旅行会社の企画に関西クルーズ振興協議会として後援) 4/1大阪(乗船) 香港(下船) 4/5関空(空路)</p>
	バス案内表示の明確化	近畿運輸局	狭い範囲に複数の関空行きリムジンバス停留所がある大阪駅周辺において、近隣のリムジンバス停留所が把握できるような地図を掲示(平成16年3月中に実施済み)。
	姫路、明石及び中国地方からのリムジンバスの運行についての検討及び働きかけ	近畿運輸局、関空会社、兵庫県	<p>利用促進行動会議からの意見要望を尊重してバス事業者に十分伝達は行った。しかしながら、規制緩和(H14.2)後、事業運営は事業者の創意工夫により運営されることとなったことから、路線の開設・延長は事業者の経営判断によらざるを得ない。</p> <p>近畿運輸局として、今後も関空との輸送需要が確保されることを前提に関係バス事業者に対し働きかけを図る。</p>

リーダー	施策	実施メンバー	進捗状況及び今後の予定等
近畿運輸局	国内線最終便に対応したリムジンバス最終便の繰り下げについての検討及び働きかけ	近畿運輸局、関空会社、兵庫県	<p>尼崎線の最終便の繰り下げ(増便) 実施日：12月23日～ 22:10関空発の後に22:35関空発を増便する予定。</p> <p>利用促進行動会議からの意見要望を尊重してバス事業者に十分伝達を行っている。しかしながら、規制緩和(H14.2)後は、事業運営は事業者の創意工夫により運営されることとなったことから、終バス延長は事業者の経営判断によらざるを得ない。 近畿運輸局として、今後も関空との輸送需要が確保されることを前提に関係バス事業者に対し働きかけを図る。</p>
	「サンダーバード」＝「はるか」の乗り継ぎ 利便性向上(列車名の共通化等)	近畿運輸局、関空会社	<p>近畿地方交通審議会答申において「サンダーバード」＝「はるか」の乗り継ぎ利便性向上を計上した。</p> <p>「駅の新設・改良等によるサービスの向上に資する事業」 大阪・京都と北陸を結ぶ特急「サンダーバード」と関空特急「はるか」の京都駅等途中駅で同一ホーム乗換え等乗継ぎ利便性の向上を図る。</p>